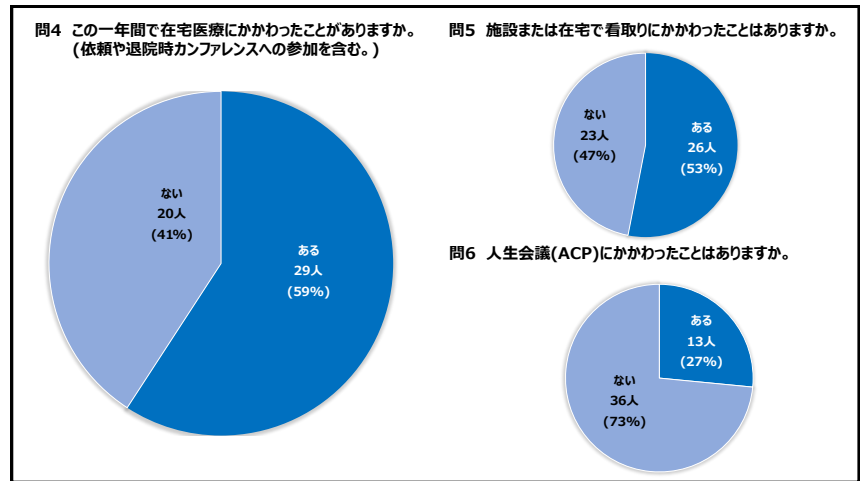
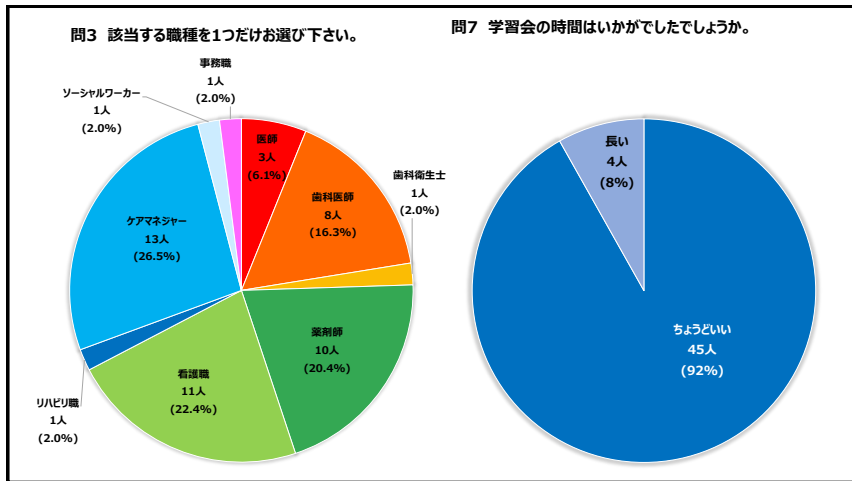
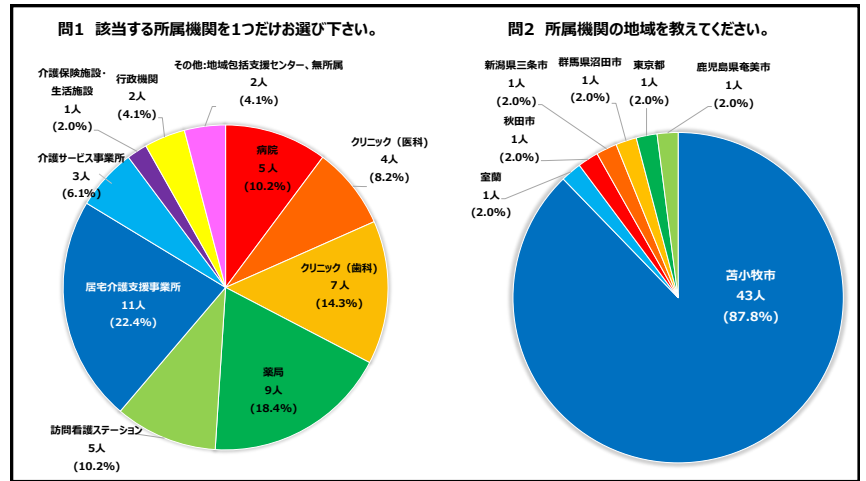


令和5年12月19日(火) 開催

第3回 在宅医療を支える多職種学習会 アンケート結果

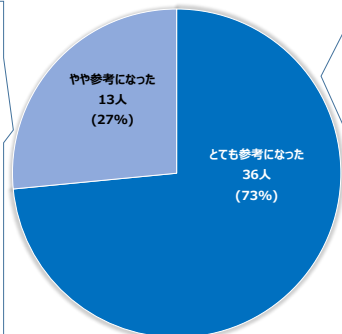
参加者 75人
回答者 49人
回答率 65.3%



問8 講演『看取りをみずえた食べる支援・生きる支援～地域の暮らしの中で看取る文化を育む～』については参考になりましたか。

問9 問8の回答を選択した理由について、具体的に教えてください。

- 今までの看取りに対し、医療従事者に任せきりになっていたような気がしました。今回の食べる支援については介護職側からのアプローチとして出ることがあり、今後の看取りの場面で活かしていけると思いました。
- 歯科と協力して食べれない原因を考えて対応されているとのこと、こちらでもそのように対応できたらいいなと思いました。あとIMADOKOのグラフで説明する患者さんにもわかりやすいなと思いました。
- 実際に自分はまだ看取りや在宅を行った事が無いため、イメージがつきにくい。だが、話を聞いていて、患者さんの気持ちや実際の取り組みを聞く事でこれが現場の声なのだと理解しました。

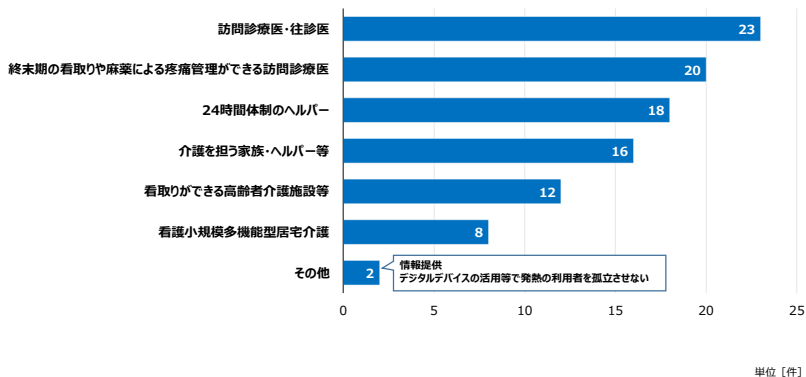


- わかりやすかったです。現在がん療養中の方を担当しています。今後の経過や声掛けなど勉強になりました。歯科の先生が一緒に動いているのはとても良いと感じました。食べる事の変化等いろいろな活動をされており、本人の思いに寄り添っているのが印象的です。(ご本人、ご家族、地域の方等)
- 今回の講演で看取りの前に患者様との関わり方など参考になったし、在宅で介護することに対してや看取りを在宅で過ごすための支援などが地域全体、一般の市民も含めたたくさんの方で見守る関わっていることにとても共感しました。どうしても在宅で過ごすためには家族が頑張る、家族が受け入れられない在宅に帰ることは無理と感じている部分もあるのですがその辺りを参考に今後もっと色々な方たちも関わっていけるとより良い時間を過ごすことができると感じました。
- 病状での食欲不振だけの判断ではなく、食べれない理由を確認し、食べる楽しさを少しでも感じられるような関わりや、ご本人の望む事が確認でき、少しでもご本人、ご家族が悔いなく過ごす時間が過ごせると感じました。また、第三者側から気持ちを聞き出す事で、わからなかったお互いの思いを確認できる大事な立場であったり、ご家族にはそばにいただけでも、十分である声かけで、ご家族がいてあげられることが増えるなど、多くの事を学ぶ事ができました。
- 最後の瞬間を豊かに過ごしていただく為に、相手の立場に立ててできることを考えていく事の大切さを改めて実感した。それは遺されるご家族にとってもとてもありがたい事だと思います。また、大変やがいのある事だと思いました。

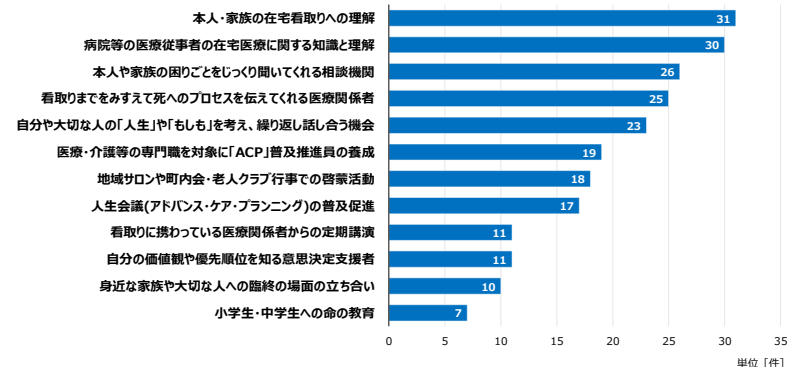
とても参考になった

- 本人の意思尊重ご家族の支援により、少しでも後悔のない気分を感じる事が良い最期まで食べられるように工夫が良かった
- 薬局でも終末期に近い患者さんから食が細くなってどうしたら良いかという質問をよく受けます。通常でしたら経腸栄養剤を紹介しますが、歯科受診等も重要であることがわかりました。今後の業務にぜひ活用したいと思います。
- 看取りを行い 好きな物を食べれるときは沢山食べてもらえるように頼職し生きてる喜びを支援できる体制作り参考になりました
- IMADOKOツールがとてもわかりやすかった。当事者や家族も理解しやすいと思った。
- ツールが具体的に一般、専門問わず使えらと思います。
- 死にゆく事を自然な過程と捉える。死を目前にしても穏やかな人と不安定な人がいる、ということが明らかになった事。
- imadokoツールや、暮らしの中の看取り準備講座など、小金井市で実施されている看取りに対する取り組みの実践が理解でき、参考になりました。
- 地域での看取り環境作りをしたいと考えており実践が参考になった。
- 今、看取りの方が数名あり、さまざまな工夫で食べられるようになり、予測していたよりも遅かに長くお元気に過ごせている為。
- 事例を交え説明して下さい、わかりやす参考になりました、現状確認ツール I M A D O K O 使わせていただきます。
- 住み慣れた場所で家族に見守られながら最後を迎えることは大切だと再認識できました。

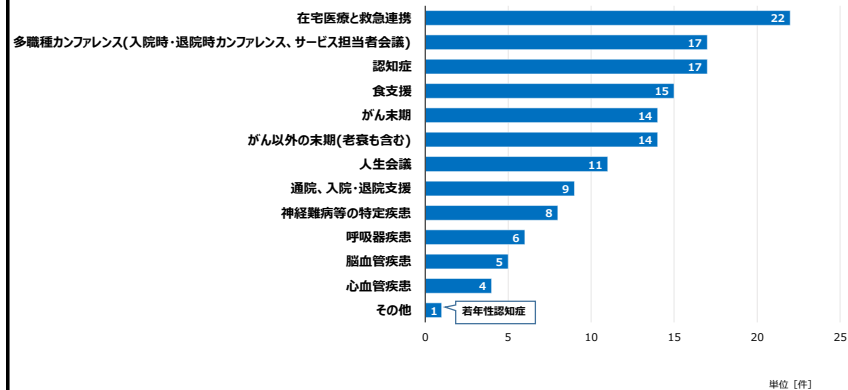
問10 「看取り文化を苔小牧ではくむ」ために必要と思うものを教えてください。(ハード面) ※複数回答可



問11 「看取り文化を苔小牧ではくむ」ために必要と思うものを教えてください。(ソフト面) ※複数回答可



問12 今後、多職種学習会で取り上げて欲しい事例はありますか。 ※複数回答可



問13 その他、多職種学習会についてのご意見、ご質問があればご記入ください。

- 明日からの訪問に役立つ考え方をたくさん学びました。今後もさらに深めるために学習会を希望します。ありがとうございました。
- 頑張って手を打ち続けて下さい。
- またこのようなテーマの学習会があったら参加したいと思いました。ありがとうございました。
- これからも参加させていただきます。

Q&A

Q1 最近、札幌に住む母が骨折して入院前一週間介護しました。幸い退院出来ました。居住地でない所の支援はどの様にすればいいか教えてください。

A1 居住地を担当とする、地域包括支援センターまたは、入院された医療機関の医療ソーシャルワーカーにご相談いただけると一緒に考えていただけます。

Q2 学習会終了後にアンケートが表示されましたが、一瞬で消えてしまいました。何か不具合でもあったのでしょうか。

A2 ご不自由をお掛けし申し訳ございません。学習会終了後のアンケート表示は、あくまで事前に配布した回答をいただける場所を思い起こしていただくための表示となります。再確認の上ご回答いただけますと幸いです。

Q3 事業所で数名で参加するとき、1台のパソコンで視聴していますが参加人数には含まれないですか？

A3 その場合は参加人数には含まれません。基本的に1人につき1メールアドレスでの参加をお願いします。参加される方それぞれのお申込みをお願いします。また、研修等の単位取得のためには氏名、入室時間をこちらが把握する必要がありますので個人でのお申込みが必要です。